

地震発生前 2010 年 12 月より微動を毎日のように感じていました。3 月になると地震が頻繁になり、確か 3 月 9 日頃は長く横揺れする地震があり嫌な予感を感じて過ごしていました。そして 3 月 11 日、今までにない縦揺れで突き上げるような地震が起こり立っていられず地面にしがみつきました。渦を巻いてるように揺れ続けしばらく動けず…。その後なんとか家族と合流することができ西の山側へ避難しました。その後自宅に戻りましたが半壊ぎみでありライフラインも寸断されており自宅には入れず状況もわからなかったためすぐに避難所に避難しました。ここからがとにかく苦痛の日々でした。

何が一番苦痛だったか！？それは「水」の確保です。

そしていろいろある水の中でも「生活用水」の確保が最も苦痛でした！

避難所に人が増えるにつれ水の量と水の種類が必要になりました。飲料水は避難施設の貯水タンクとペットボトルなどでしばらくしのぎ、やがて自衛隊などの給水などがはじまり最低限の飲料水は確保できましたが、生活用水は全くと言っていいほど足りませんでした。

特に「トイレの排水！」流す水が少ないため汚物が詰まり流れなくなるという惨劇でした。

避難所の責任者が手で汚物を取り除く作業をしていましたが追いつきません。男性は穴を掘って排便したりしましたが、女性はそうはいきません。

そこで井戸を掘ろうと思い重機を借りて井戸を掘ってみました。掘り山が崩れ地下水を汲むことができませんでした。諦めて避難所にいる人たちでかなり離れた川までタンクを持っていき川の水を運搬しましたが腕がパンパンになり回数をあまり増やせませんでした。ここで**手押しポンプ**

**の井戸**があつたらなあとお感じしました。**手押しポンプは電気がいらないためいつでも誰でも水を汲むことができます。**後で千代田ボーリングの斎藤さんから聞いた話では、井戸水は水質によるところがあり手押しポンプもどこでもいい条件で使用することができないとのことでした。地下水の深度や供給量次第では汲めない場合もあると聞きました。それにしても無いよりはマシだと思いますので、できるだけ多くの場所(せめて避難施設に当たるところ)に井戸設備などが必要だと思えます。

震災後は公園などに仮設トイレなどの整備がされているところもありますが、地方などないところが大半だと思います。いつ来るかわからない大災害、私の経験などを参考に

**水源確保を最優先**に、できる限り事前に対策してもらいたいと思います。